



10月号

2024

10

OCTOBER
JAごとう
No.224

去勢が6%上げ平均価格も上昇
9月期牛せり

出荷規格を守り入念な選別を徹底
五島甘藷生産組合

部会員同士が栽培技術の向上図る
ほめられかぼちゃ出荷反省会

次代を担う子供たちに伝え続けること
青年部活動

素晴らしい作品に審査員も感嘆の声
JA共済書道コンクール審査会

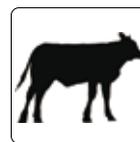
子牛の計量を済ませ、せり会場に向かう生産者(山口雄也さん)【五島家畜市場】



落札価格が決定し、せりを終えた子牛を会場から引き出す生産者

令和6年度 9月期 牛せり

去勢が6%上げ平均価格も上昇

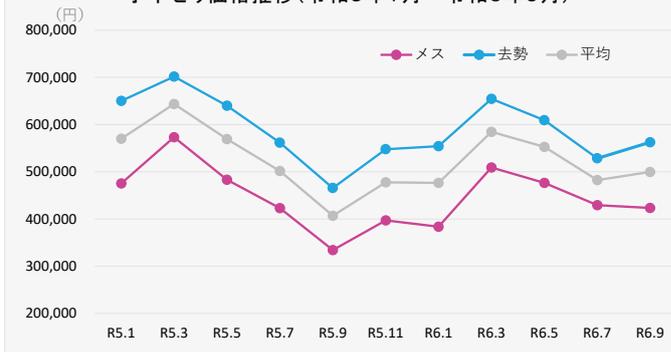


肉用牛

●9月半ばとはいえ、真夏のような厳しい暑さの中で開かれたせり市。入場を待つ牛の中には暑さに耐えきれずその場に座り込む姿も見られ、生産者が水を与えるなど気を配っていました。

令和6年9月期のせり市が9月13日と14日、五島家畜市場で開かれ、生産者170戸が631頭(子牛587頭、成牛44頭)を上場しました。2日間の結果は、メスがわずかに下げたものの去勢が6.5%上げたことで、子牛の平均価格は、3.6%上げの49万9831円となり前回と比べ1万7571円上げました。「下がる」と覚悟していたので、少しでも上げてくれたこと

子牛せり価格推移(令和5年1月~令和6年9月)



令和6年9月期せり市成績表(子牛)

※税込、落札価格のみ税抜

性別	売却	落札価格	最高価格	平均価格	kg単価	平均体重	前回比
メス	264 頭	101,626,000 円	1,072,500 円	423,442 円	1,569 円	270 kg	98.6%
去勢	321 頭	164,193,000 円	896,500 円	562,655 円	1,911 円	294 kg	106.5%
合計	585 頭	265,819,000 円	1,072,500 円	499,831 円	1,764 円	283 kg	103.6%



家畜市場では暑さ対策として、施設の屋根に配管し水を流すことで屋根を冷やし、軒先から落ちた水の「打ち水」効果で涼をこられるよう施され、生産者からも好評を得ていました。



せり会場のようす。上場された子牛に購買者の鋭い視線が注がれます



せり開始前、繋ぎ場で目当ての子牛を見定める購買者の方々



せり会場へ入場する直前に行われる子牛の体重測定



就任後初のせりで挨拶

五島市 出口 太 新市長

9月13日、五島市の出口太新市長が五島家畜市場を訪れ、就任後初めて開かれた牛のせり市で畜産農家を前に「ふるさと五島の農業を発展させるため尽力する」旨挨拶しました。市長が強みとする「国とのパイプ・人脈」を活かした五島農業の未来に皆が期待しています。

でほっとしている」と、せりを終えた生産者も笑顔を浮かべました。

JAの担当者は、「全国的に相場が下げ基調の厳しい状況の中で嬉しい誤算」と、安堵を口にする一方で「管内では最近、牛の死亡事故が増えていると心配している」と話します。

事故の増加は、今年6月から顕著になっており、重い病気や老衰など避けられない原因を除き、中には管理不十分で亡くす案件も見受けられると言います。

「いつ枝肉相場が持ち直すかも分からない中で、購買者には前回より高く買っていただいています。生産者には、牛を病気から守り死亡させないように入念な飼養管理に時間をとってもらいたい」と話しました。

memo

せりに上場される子牛には、ワクチンや抗生物質の投与が行われています。これは、購買者の農場までの長時間の輸送や変化する飼養環境から受けるストレスで起こる呼吸器病の発症と重症化リスクを抑えるためです。市場では生産者の出費で鼻腔内投与(TSV3)を全頭接種しているほか、購買者の希望と出費によってビタミンやその他の接種が行われています。



せりを終え会場から引き出された子牛に獣医が接種しています

出荷規格を守り入念な選別を徹底



甘藷

●五島甘藷生産組合では、本年度7戸の生産者が410㌦の甘藷を栽培。取引先の(株)丸促と五島産甘藷の需要拡大に取り組んでいます。



「目揃い会で出荷規格を十分に共有し、高品質の芋を丸促さんに送りましょう」と挨拶する五島甘藷生産組合の山内清一代表



甘藷の現物を前にして出荷規格を確認した目揃い会

販売する際には第一に五島産を提案していると話す(株)丸促営業部の山本氏



今期の予想収穫量が個別に報告され輸送体系も検討されました

五島甘藷生産組合は、令和6年産甘藷の収穫期を前にした9月4日、出荷協議会と目揃い会を本店で開きました。

4月から6月にかけて苗を定植した後、日照りと干ばつに見舞われた本年産の甘藷は、玉太りが例年より1週間ほど遅れ、組合代表の山内

清一さんは「収穫量は昨年より2割ほど減少する」と予想しています。(株)丸促営業部の山本伊知朗氏は「全国各地に芋の生産地が急増し供給過多が続く現状で、味や品質をアピールすることが大事」と高評価の五島の芋を自信をもって作ってほしいと話しました。

米品質検査 穀粒判別器

目視による品質検査の参考データに



米品質検査

●日本の主食である大切な米の品質と安全性を確認する検査にも、時代とともに最新技術の投入が進められ時間とコストの削減が試みられています。

穀粒判別器で測定・印字されたデータ



カルトンと呼ばれる黒い皿に入れた玄米を目視で鑑定するようす



導入された穀粒判別器

500万画素イメージセンサーの画像処理で1000粒を約40秒で測定判定項目は整粒、白未熟粒、着色粒、死米、胴割粒、砕粒、他被害粒、異物等
製 造:株式会社ケツト科学研究所
製品名:穀粒判定器 RN-700

米の検査は、国の認可を受けた「JAをはじめとする「登録検査機関」で、専門的な知識と技術で正確な検査を行う検査員によって、品質と安全性が確認され等級(1等～3等)が決定されます。

農林水産省が、令和2年度産米の検査から穀粒判別器の活用を可能とする鑑定方法を改正したのを受けて、「JAごとうでは、令和6年産米の検査から穀粒判別器を導入し試用しています。

導入した穀粒判別器は、うるち米専用で、トレイに1000粒ほどの玄米を広げ器械に入れると、約40秒ほどで判定可能。結果は専用の用紙に測定

粒数や整粒割合のほか着色粒や未熟粒などの項目ごとに粒数と割合が印字されて出てきます。

食用米の品位を表す等級は主に整粒、形質、水分の各項目の割合や状態で鑑定されますが、米粒の形や色、病気や虫の被害などは、これまで目視による鑑定が行われてきました。

「JAの検査員は「カルトンに入れた約800粒の玄米をひと粒残らず目視で鑑定するには10分はかかる」と器械の速さに驚く一方で「現段階では判別器の結果はあくまでも参考データで、今後、検査数をこなし検証する」としました。



そばの種まきを前に意気込みを見せる盈進小学校のみなさん

JAごとう青年部/富江支部/食農教育活動 **そば種まき**

次代を担う子供たちに伝え続けることが大切

●盈進小学校が30年ほど前から年末に開催している『盈進まつり』では、地元住民を招いて様々なイベントを通じて交流し絆を深めています。



青年部活動



青年部員から種を受け取る児童



全員で元気よく種をまいていきました



種まきが終わると青年部員がトラクターで土を被せていきます



紙コップに入ったそばの種

JAごとう青年部富江支部は9月6日、「食農教育」の一環として盈進小学校の5、6年生の児童13名とそばの種まきを行いました。

農作業を通して「食」を支える農業に対する知識と理解を深めてもらおうと毎年行われています。

青年部員が事前に耕した約15坪の畑に集まった児童らは、部員から説明を受けると、横一列に並び一斉に作業を開始。初めて体験する5年生は、上級生から優しく教えてもらいながら楽しそうに種をまいていきました。

種をまき終わると、部員がトラクターで土を被せ作業は終了。児童らは「どれぐらいで芽が出るのかな」、「おいしいそばを食べるのが楽しみ」と笑顔で話し、11月の収穫に期待を寄せていました。

青年部員は「次の時代を担う子供たちに伝え続けることはとても大切なこと」としながらも「青年部の盟友も年を重ね、数も減っていく中で、いつまで続けていけるのか」と不安を口にしました。

盈進小学校では、30年ほど前から11月末に『盈進まつり』を開き、お年寄りを講師に招いて、親子でそば打ちを楽しんでおり、部員は「こういう取り組みも長く続けていけるよう願っています」と話しました。

福江みなとまつりに JAごとうが参加しました

9月28日、JAごとうの若手職員が福江みなとまつりにねぶたの曳き手として参加しました。熱気に包まれアーケードの中を、JA職員が大きな声を張り上げながら五島牛の神輿やねぶたを曳き、祭りを盛り上げるべく奮闘しました。職員の子供たちも参加し、沿道の観衆にお菓子やノベルティを配布し、観衆を笑顔にしていました。



懸命にねぶたを曳く若手職員たち



参加した子供らと記念写真



今年も大活躍の五島牛型神輿



子どもに大人気のごとうさん



地域の皆さまへJAごとうをアピール

下期の取組に向けた協議を行う

J A ごとう女性部本部役員会議



女性部活動



挨拶をする前田部会長

J A ごとうの女性部は9月12日、本部役員会を開き、令和6年度上半期の女性部活動を振り返るとともに、下半期の活動計画について協議を行いました。

下半期の活動として、長崎県下の女性部を対象に行われる各種大会への参加計画、農業まつりへの参加計画（軽食バザー）、毎年12月に各支店の女性部支部で行われる支店協同活動について、女性部役員への慰労と親睦や意欲促進を目的とした役員研修旅行などについて協議。

J A ごとう女性部は、今後も3つの重点実施事項である「つながるつ」「まもろうつ」「かかわろうつ」を理念とし、地域の農業と食文化を守る活動を通して、豊かで暮らしやすい地域社会の実現に向け、様々な活動に取組んでいきます。



役員会議のようす



協議を行う女性部員たち



扇風機などで暑さ対策を施し開催された第3回「島空マルシェ」

3回目となる「島空マルシェ」が9月7日、J A ごとう産直市場「五島がうまい」前広場で開催されました。会場では、扇風機を設置して暑さ対策が施されるなか、美味しい食べ物の出店やキッチンカーが並びました。今回、初めて参加した五島市消防本部と五島警察署のブースでは、最新鋭のはしご車や救急車、パトカーなどを展示。訪れた子供たちは、目

消防本部と警察署が初参加



パトカーの前で記念撮影する多くの家族にも署員が優しく対応



赤く巨大なはしご車に乗車して歓声をあげて喜び子供たち

を輝かせながら日頃触れることのない車両に乗り込むと様々な質問を投げかけ、署員らも優しく答えていました。「島空マルシェ」は毎月第1土曜日に開催しています。

素晴らしい作品に審査員も感嘆の声

●JA共済では、相互扶助・思いやりの精神を次代を担う小・中学生にも伝えていくとともに児童・生徒の書写教育に貢献することを目的として「書道コンクール」を開催しています。

共済事業

「JA共済小・中学生書道コンクール」の審査会を9月11日、本店にて開催しました。

管内の小・中学校33校から2366作品が応募され、学年ごとに半紙と条幅の2部門からそれぞれ入賞作品が選ばれました。

長年、学校教育に携わられた3名の有識者を招いて行われた審査では、「いずれの作品も素晴らしく、文字の美しさ

もさることながら、心を込めて書いているのが伝わってきて圧倒されました」と審査員も絶賛。「豊かな心を育む書道に親しむ子供が増えるためにも当コンクールの継続を望みます」と話しました。

今回の入賞作品は、県コンクールに出品されるほか、11月に開催される「JAごとう農業まつり」でも展示されますので、ぜひご覧ください。



真剣な眼差しで審査にあたる3名の審査員の先生方



審査の最終段階。数点に絞られた作品は、どれも甲乙つけがたく審査員も苦渋の選択を迫られます。



「条幅の部」の審査。素晴らしい作品を前に審査員から感嘆の声が上がります



税務経理技術の向上と経営改善へ貢献

●確定申告の時期を迎えると農家の方々が頭を悩ます申告書の作成と整備。自らパソコンで専用ソフトを使い農業簿記に取り組む方も徐々に増えていますが、その割合は少なく、JAごとう青色申告会の果たす役割は大きい。

青色申告会

JAごとう青色申告会は9月20日、本店で役員総会を開き、令和6年度の事業計画等について協議しました。

昨年10月にスタートしたインボイス制度も相まって、組合員の「税」への意識も高まり、税制を知ることによって節税も見込めるとして会員数も増加。本年度は267名が登録されています。

本会では、研修会等を重ね確定申告書作成支援に向けた準備を進めていきます。



JAごとう青色申告会役員総会
下地区6支店管内の会員から選ばれた役員が出席
議長を務めるのは、本会の会長 近藤慶一さん



今年1月に行われた「令和5年度確定申告書作成支援」のようす
(本山支店)

JAバンクアプリ プラス 新登場!

いつでも
手続きできるぞう。

アプリで全部できるぞう。



振込・振替



カードローン*



税金・
各種料金の払込み
(ペイジー)



住所・電話番号
変更
アプリで完結!
来店・郵送不要



口座開設*
アプリで完結!
来店・郵送不要



通勤中に



休憩中に



帰宅後に



JAバンクアプリ プラスのダウンロードは
こちらから。



口座開設と合わせて、
JAカード(単機能型)へ
のお申し込みもできます!



※JAによってお取り扱いできない場合や、一部機能に制限を設けている場合、対象商品・案件が異なる場合があります。

©よりそ

移動店舗車の営業時間変更のお知らせ

10月1日(火)より下記のとおり、営業時間変更となります。

※赤文字が変更になった箇所

曜日	巡回時間・場所			
月			11:40~12:10 旧大浜店舗	14:00~14:45 旧大宝中学校跡地
火	9:15~10:00	10:45~11:20	11:40~12:10 野々切相愛会館	13:45~14:15 中須生活館 14:30~15:00 幾久山集会所
水	大津詰所	本山支店 ※購買のみ営業	11:40~12:10 旧大浜店舗	14:00~15:00 小川生活館
木			11:40~12:10 野々切相愛会館	14:00~14:45 旧大宝中学校跡地
金			11:40~12:10 旧大浜店舗	13:45~14:15 中須生活館 14:30~15:00 幾久山集会所

※道路状況により、時間が遅れたり巡回ができない場合があります。

※土・日・祝祭日・年末年始は営業いたしません。

麗宝展 開催します

10月26日(土)・27日(日)

10:00～18:00

10:00～17:00

本店特設会場にて
お待ちしております!!

令和六年度第六回理事会

次第

1 議案事項

議案No. 1 貸付金（農林中央金庫への期限付劣後ローン）の審査について

※可決・承認された

議案No. 2 信用事業方法書（内国為替取引）の一部変更について

※可決・承認された

議案No. 3 取引のリスク評価書定例改正について

※可決・承認された

議案No. 4 固定資産の取得について

※可決・承認された

議案No. 5 出資金の減口について

※可決・承認された

議案事項 その他

2 報告事項

報告No. 1 主な事業経過と行事予定について

報告No. 2 主要事業8月末計画と実績について

報告No. 3 産直市場「五島がうまい」8月末実績について

報告No. 4 令和6年8月末食肉販売実績について

報告No. 5 令和6年9月期五島家畜市場成績について

報告No. 6 令和6年8月～9月県内家畜市場市況について

報告No. 7 優良和子牛生産推進支援助交付金・生産者補給金対象外牛にかかる

補償金の支払いについて

報告No. 8 令和6年度上地区宝飾品展示会「麗宝展」の実績について

報告No. 9 JA事業運営モデルの更新について

報告No. 10 体制整備モニタリングの実施結果について

報告No. 11 固定資産入札結果について

報告事項 その他

令和六年九月二十七日金開催

女性農業者のみなさんへ

農業者年金は今のあなたと
老後のあなたを応援します

老後生活
への備えは
十分ですか？



- ポイント1 「終身年金」で、女性の長い老後を**しっかりサポート**します。
- ポイント2 家族経営協定を結べば**保険料の国庫補助**も受けられます。
女性の農業経営への参画を**しっかり応援**します。
- ポイント3 税制面で**大きな優遇措置**

詳しくは… [農業者年金基金](https://www.nounen.go.jp) <https://www.nounen.go.jp>



施設作業員募集

作業場所	作業期間
育苗センター	3月～11月
アスパラ選果場	3月～10月
ブロッコリー選果場	12月～5月
高菜加工施設	12月～3月

詳細は本店 農産園芸部までお問い合わせください。
☎0959-72-6214

WEB年金相談会のお知らせ

年金についてのお困りごとを
社会保険労務士へ相談してみませんか？
開催日 毎月第2水曜日(祝日の際は翌営業日)
開催時間 1)09:00～09:50 2)09:50～10:40
3)10:40～11:30 4)11:30～12:20

※相談にあたっては事前のお申込みが必要です。

詳細は本店金融部までお問合せ下さい
☎0959-72-6212

奇場 浄倫会館
誠意と真心でご奉仕いたします
事前のご相談も承ります

株式会社 JAごとう葬祭

【本店】
〒853-0041 長崎県五島市籠淵町 2450
電話 0959(72)8211 FAX 0959(74)5266

【上五島支店】
〒857-4404 長崎県南松浦郡新上五島町青方郷 355-7
電話 0959(52)2417 FAX 0959(43)1955



産直市場
五島がうまい

住所：〒853-0041 五島市籠淵町2450番地 1
電話：0959-88-9933 FAX：0959-88-9922
営業時間：9時～18時30分
9時～19時 (7・8月)

※農家レストランは10時30分～14時(予約については別途)
休業日：棚卸日(9/末、3/末) 年始(1/1・2・3)

編集 後記

9月末に開催された福江みなとまつりにJAごとうとして参加させていただきました。今年は近年の中で参加する子供の人数が比較的多く、昨年よりも賑やかな一団となっていたように思います。それとは対照的に、職員の参加者は例年よりも少なかったため、ねぶたを曳いていた職員は息も絶え絶え、本当にきつそうでした。とはいえ、やはりそこは祭りの中での出来事。沿道からの声援や、掛け声を発声していくうちに自然と笑顔がこぼれ、最終的にはそのきつささえも楽しんでいただいていたように思います。

秋は様々なイベントが開催されます。随時掲載していきますので、楽しみにして頂ければと思います。(長瀧 俊一)